



インストラクション

J05100

2021-01-18



SCREAMIN' EAGLE TWIN CAM 4. 375 インチ ストローク、3. 875 インチ ボア 鍛造ピストンキット

概略

キット番号

22942-00A、22944-00A

適合モデル

シリンダーヘッド：すべてのSE、標準装備のシリンダーヘッドです。

シリンダー：Screamin' Eagle Pro 3-7/8 インチ ビッグボア シリンダー

フライホイール：2007年以降の標準装備(4-3/8インチストローク)フライホイールアセンブリーまたは、Screamin' Eagle Pro 4-3/8インチストロークフライホイールです。

注記

この説明書に記載される寸法はすべてインチ表記です。

高圧縮ピストンを使用する際は、シリンダーヘッドに適切な圧縮解放加工を行う必要があります。

標準仕様ではないカムシャフトでピストンからバルブまでのクリアランスを必ずチェックしてください。

表1. 適合モデル

キット	アプリケーション
22942-00	標準(フロント&リア)
22944-00	+0.010(フロント&リア)

注記

Screamin' Eagle 高性能エンジン部品搭載のハーレーダビッドソン車両は、公道での使用ができない可能性があります。また、定められたコースの競技での使用に制限されている場合もあります。エンジン関連の性能部品は、レース用に開発されており、汚染制御車両への販売や使用は、違法となっています。

装着に必要な追加パーツ

1550のキットで、二つのヘッドガスケット (部品番号16787-99) の別途購入が必要です。

サービスガスケットキット(部品番号17052-99B)は、アセンブリーに必要となります。

注記

このパフォーマンス製品の性能を最大限に引き出すためには、エンジンのジェッティングまたはタイミングを再調整しなければならないことがあります。

最適なパフォーマンスのためには、エキゾーストシールをScreamin' Eagleエキゾーストシール(部品番号17048-98)に交換してください。

注記

このキットを取り付ける際には必ずECM(電子制御モジュール)を再調整する必要があります。ECMの再調整が適切に行われないと、エンジンに深刻なダメージを与えるおそれがあります。(00399b)

注記

ECM再キャリブレーションが必要で、この作業は、Screamin' Eagleレースチューナーキット(部品番号32107-01F)で行えます。ハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店にお問い合わせください。

警告

ライダーおよびパッセンジャーの安全を守るため、キットは正しく装着してください。サービスマニュアルを参照しながら、適切な手順に従ってください。自分で作業を行うことが難しい場合、または適切な工具を持っていない場合は、最寄りのハーレーダビッドソン正規販売網店に取り付けを依頼してください。本キットを正しく取り付けないと死亡したり重傷を負うおそれがあります。(00333b)

注記

この取り扱い説明書はサービスマニュアルの記載情報を参照しています。このキットを取り付けるには、お持ちの車両のサービスマニュアルが必要です。サービスマニュアルは最寄りのハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店でお買い求めいただけます。

キット内容:

「表4」および「図4」を参照してください。

取り付け

警告

誤って車両が始動すると、死亡事故や重傷事故を引き起こすおそれがあるため、バッテリーケーブル(マイナス(-)ケーブルが先)を外してから作業を開始してください。(00307a)

警告

マイナス(-)バッテリーケーブルを先に取り外します。マイナス(-)ケーブルを接続した状態でプラス(+)ケーブルがアースに接触すると、火花が発生してバッテリーが爆発し、死亡や重傷を負う原因になることがあります。(00049a)

1. サービスマニュアルを参照し、説明に従ってシート、バッテリーケーブルをマイナスから先に取り外します。

▲警告

フューエルシステムを取り扱う際は、喫煙したり、そばで火や火花の元となるものを使用したりしないでください。ガソリンは可燃性、起爆性が非常に高いため、死亡事故または重傷事故につながるおそれがあります。(00330a)

2. サービスマニュアルの「エンジン」のサービスマニュアルの「エンジン修理、シリンダーヘッドの取り外しのためのモーターサイクルのストリッピング」セクション。
3. サービスマニュアルの「エンジン」のシリンダーとピストン、修理、シリンダーのボーリングと研磨。
4. サービスマニュアルの「エンジン」のシリンダーとピストンの取り付けと組み立て。
5. 「図1」を参照。ピンピストンピン穴の両側から、水平に90度、スカートの最も低い部分から0.285インチ上(2)で、ピストン幅(1)を測定します
6. このキットのピストンは前後用に分かれていません。ピストン上部の矢印がエンジンの前面を示すように、フロントシリンダーとリアシリンダーにピストンをそれぞれ取り付けます。

注記

ドットとベベルのあるピストンリングをドットを上向きにして二番目のリング溝に取り付けます。印のないリングは、どちらかを上側にして上のリング溝に取り付けられます。

3-7/8インチのシリンダーは、上のシリンダードウェルのOリングを使用しません。トルクプレートを使用している場合、またはエンジンの最終組み立て時には、これらを取り付けしないでください。

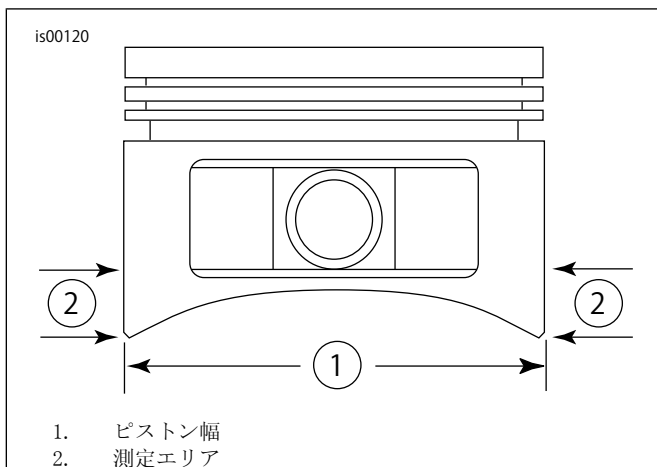


図1。ピストン測定

表2。ピストン工場出荷時の規定値

ピストン:	許容誤差(インチ)
シリンダーのフィット	0.0025-0.0035
コンプレッションリングのギャップ	
上部	0.012~0.022
2速	0.012~0.022
オイルコントロールレールのギャップ	0.010~0.050

表3。ピストンのサービスリミット

ピストン:	摩耗リミット(インチ)
シリンダーのフィット	0.005
コンプレッションリングのギャップ	
上部	0.032
2速	0.032
オイルコントロールレールのギャップ	0.060

ピストンピンリテーニングリング(サークリップ)の取り付け

注記

サークリップギャップが12時または6時の位置にくるように取り付けてください。

1. 「図2」を参照。サークリップ(1)の開いた方の端をピストンピン突起周囲の溝(2)のノッチ(3)に挿入し、ギャップが12時または6時の位置にくるように取り付けてください。

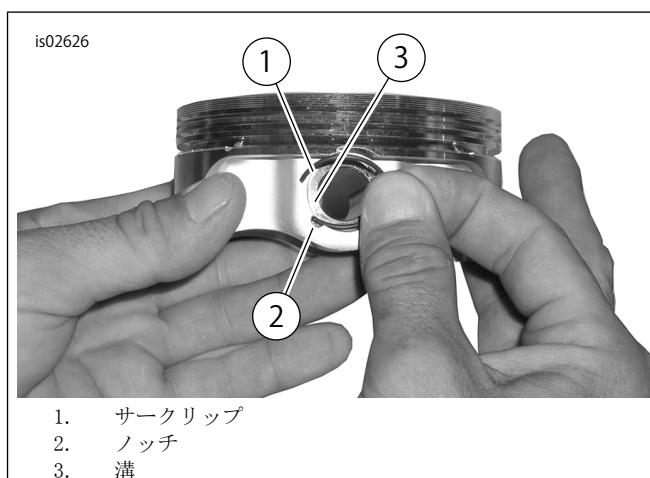


図2。サークリップとピストン(図示:一般的なピストン)



図3。サークリップを取り付けます(図示:一般的なピストン)

2. 「図3」を参照。図のとおり親指(1)の位置を合わせ、サークリップ(2)の85%が溝にはまるまでしっかり押し込みます。

3. ピストンを引っかいたり傷つけたりしないように注意しながら、小型スクリュードライバーを使ってサークリップを溝の残り部分に押し込みます。残りのサークリップでも繰り返します。

注記

ピストンサークリップが完全に装着されているか確認してください。完全に装着されていないとエンジンが損傷します。

4. サービスマニュアルの「エンジン」の「分解後の再組み立て」のセクションを参照して、最終的な再組み立てをしてください。

注記

ばらしたエンジンを組み立て直したあとは、しかるべきオーナーズマニュアルに説明されている慣らし運転手順に必ず従ってください。

交換用パーツ

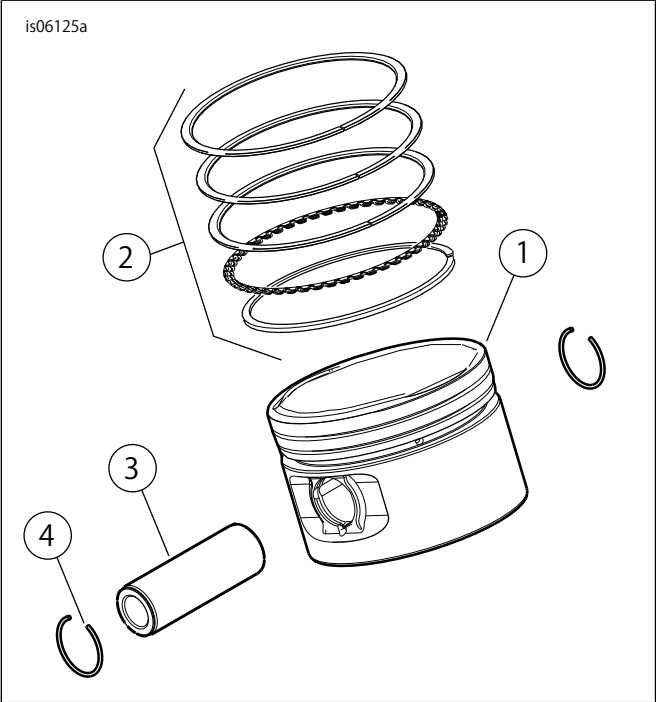


図4. 交換用パーツ：フロントおよびリアピストンキット

表4. 交換用パーツ表、フロントとリアピストンキット

キット	アイテム	詳細(数量)	部品番号
キット 22942-00A ピストンキット スタンダード	1	ピストン(標準)	別売りなし
	2	リングセット(標準) (2)	22457-03
キット 22944-00A ピストンキット (+0.010)	1	ピストン(+0.010)	別売りなし
	2	リングセット(+0.010) (2)	22459-03
全てのピストンキットに共通のアイテム:			
	3	ピストンピン(2)	22455-03
	4	リテーニングリング(サー クリップ)(4)	22097-03